

## 大手週刊誌において発表された、他団体におけるパワハラ問題について 声明文

本日、週刊新潮（7月7日号）において、JBDFにおける期待のアマチュア選手（藤井創太選手）に対するパワハラ疑惑が掲載されました。

我々JDCとしては、驚きとともに非常に遺憾に受け止めております。

競技会の主催権を有する運営団体が、選手の権利である自由に競技会に出場する機会、更に自らの将来を選ぶ権利を制限することは、「優越的地位の濫用」や「選手の自由な競争の妨害」に繋がる危険性がある上、選手の育成をも阻害することに繋がりかねないと、我々は考えています。

ダンス界において、ハラスメント等の行為は断じて許されるものでなく、我々JDCとしては引き続き、選手が自由闊達に自らの能力を発揮できる環境づくりを進め、選手の将来に寄り添っていく所存です。

また、我々は選手の出場や将来への制限だけでなく、「フリー&フェア」の精神に則って取り組んでいる様々な改革を通して、ダンス界全体の浄化と改革に貢献して参りたく考えております。

2022年6月30日

公益社団法人 日本ダンス議会  
会長 楠 潤一郎